

年度初めのご挨拶

年度初めとはいえ、世界的規模で感染が拡大していく新型コロナウイルス感染症対策として、「緊急事態宣言」が発出されるなど、不安な日々が続く毎日です。

皆様方におかれましては、体調管理等万全にしてお過ごしのことと拝察いたします。日頃から当協会の活動に際しましては、皆様方からの多大な御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

昨年度は、皆様方から多大なご支援、ご協力をいただきながらも、県内高校における暴言・暴力事案という不祥事を起こし、皆様方に多大なる不快感とご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

当協会としてはこの事案を深く受け止め、会長はじめ協会幹部の指導不足を痛感し、二度とこのようなことを起こさぬよう、講習会・研修会等を通じて、暴言・暴力の根絶を目指し、「クリーンバスケットボール」の実現に向けて、協会一丸となって努力してまいりますので、今後とも変わらぬご指導、御鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

さて、本年1月以降のコロナ禍の為、本年度開催予定の文科系・スポーツ系の各種イベントが軒並み中止・延期を余儀なくされ、2020東京オリンピック・パラリンピックも1年後に延期となりました。本県協会も今年度開催予定の各種事業計画の実施に不安もあり、日程変更の再検討に苦慮しているところです。今は、この事態の終息後に協会業務の運営をスムーズに移行出来るよう、今やれることをきちんとやっておくことが肝要です。

当協会は、今年度から2023佐賀国スポ全障スポ大会に向けて、成年男女とU13を強化し、全国に通用するチーム作りを目指し、結果が出るよう競技力の向上を図っていきます。更に、2023佐賀国スポ・全障スポ大会の結果を踏まえて、強化・育成を継続させ、競技力向上と普及に反映させていくことが最も重要だと考えています。そのためには、普及と強化・育成が不可欠です。

バスケットボールの競技の普及は観る人を増やします。観る人が増えれば、支える人も増えます。支える人が増えれば、強化のグレードアップに繋がるかもしれません。全国に通用する「佐賀県のバスケットボール競技力」の創出と実現のため、協会一丸となって、1年1年歩を進めていきたいと思っております。

最後に、甚だ恐縮ではありますが、今後とも皆様方からの当協会の活動へのご理解とご協力及びご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

令和2年4月吉日

(一社) 佐賀県バスケットボール協会
会 長 貞 松 義 人